

I 世界史探究問題

第一次世界大戦で欧米諸国の工業生産が停滞し、製品の流入が減少したため、中国で綿紡績業などの軽工業が発展して民族資本が成長し、日本の綿紡績業も大戦後に中国へ大規模に進出した。工業化の進展とともに都市労働者が増え、学生などの青年知識人も増加し、マスメディアが発達した。大戦中の知識人は、民衆の自覚を促す新文化運動を展開した。大戦後、パリ講和会議で山東のドイツ権益返還要求などが拒否されたことに反発した北京の学生デモを機に、労働者なども参加する五・四運動が起こった。これを受けて孫文が大衆政党の中国国民党を結成し、中国共産党も組織された。両者は提携して軍閥打倒のため北伐を開始し、中国統一の機運が高まった。（300字）

Ⅱ 世界史探究問題

A

(1)	ホラズム＝シャー朝	
(2)	ワールシュタットの戦い	
(3)	権力者（支配者）	
(4)	クライシュ族	
(5)	(ア)	フレグ（フラグ）
	(イ)	当時のモンゴル人は非ムスリムだったから。
(6)	ペルシア語	
(7)	ブワイフ朝	
(8)	バヤジット1世	
(9)	サマルカンド	
(10)	遊牧ウズベク	
(11)	ジズヤ	
(12)	イスマーイール	
(13)	イエニチェリ	
(14)	アッバース1世	

B

(15)	稲
(16)	鉄
(17)	放伐
(18)	南朝への遠征のため。
(19)	黄河と淮河
(20)	新羅
(21)	李淵（高祖）
(22)	楊貴妃
(23)	蘇湖（江浙）
(24)	木版印刷
(25)	「清明上河図」
(26)	キタイ（契丹）
(27)	『中庸』
(28)	ジャムチ
(29)	三藩の乱

Ⅲ 世界史探究問題

ソ連ではスターリンの指導のもとで第1次五カ年計画が開始され、計画経済による重工業化や農業集団化が行われた。スターリン憲法では市民の権利や自由がうたわれたが、実際には反対派への大規模な粛清が行われた。アメリカではフランクリン＝ローズヴェルトにより、議会の支持のもとでニューディールが推進され、農業調整法などで市場への積極的介入が行われた。一方でワグナー法や社会保障法の制定により、労働者の権利を保護した。ドイツでは全権委任法によりナチ党の単独独裁体制が確立され、アウトバーンの建設や四カ年計画の推進などで経済回復を進めた。市民へは娯楽を提供する一方、言論は厳しい統制下に置かれ、ユダヤ人迫害が行われた。（300字）

IV 世界史探究問題

A

a	キケロ
b	モンテーニュ
c	アリストテレス

(1)	ダレイオス1世
(2)	人は信仰によってのみ義とされると考え、人々が直接聖書にふれることができるべきだとする聖書中心主義をとった。
(3)	ペリクレス
(4)	ランケ
(5)	ザマの戦い
(6)	ネロ
(7)	ヴィルヘルム2世
(8)	タキトゥスがローマのブリテン島支配を「隷属」の強化と否定的にとらえているのに対し、ハヴァフィールドは文明による同化というローマの属州支配をイギリスの帝国主義的植民地支配の手本として肯定的にとらえている。
(9)	ラス＝カサス

B

(10)	エチオピア
(11)	ケープ植民地
(12)	予定説
(13)	ベルギー
(14)	ダーウィンの進化論における生存競争や自然淘汰の原理を，人間社会に適用した説であった。
(15)	太平天国の乱
(16)	ファショダ事件
(17)	日本
(18)	ソ連が支援する人民戦線の拡大を危惧し，またファシズム諸国との衝突を回避するため。
(19)	オレンジ自由国・トランスヴァール共和国
(20)	本国イギリスと自治領の関係を対等とした。
(21)	イタリア＝トルコ（伊土）戦争
(22)	ンクルマ（エンクルマ）